

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

令和 5年 7月 25日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県近江八幡市安土町西老蘇310

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社 吉野工業所 滋賀工場
工場長 八木 茂樹

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、
事業者行動計画を策定 (変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社 吉野工業所 代表取締役社長 吉野 祥一郎
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	東京都江東区大島3-2-6

1 事業者の概要

事業所の名称	株式会社 吉野工業所 滋賀工場								
事業所の所在地	滋賀県近江八幡市安土町西老蘇310								
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	1	8	9	2	※ 産業分類・細分類名称を記載 プラスチック製容器製造業			
事業の概要	プラスチック製容器製造								
従業員の数	299	人	操業時間	24時間/日					
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者								
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者								
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者								
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	81	台	照明設備	約1000	台
	コンプレッサ	29	台	空気調和設備	107	台	その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和2	年度	報告対象年度	令和4	年度
	終了 年度	令和5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

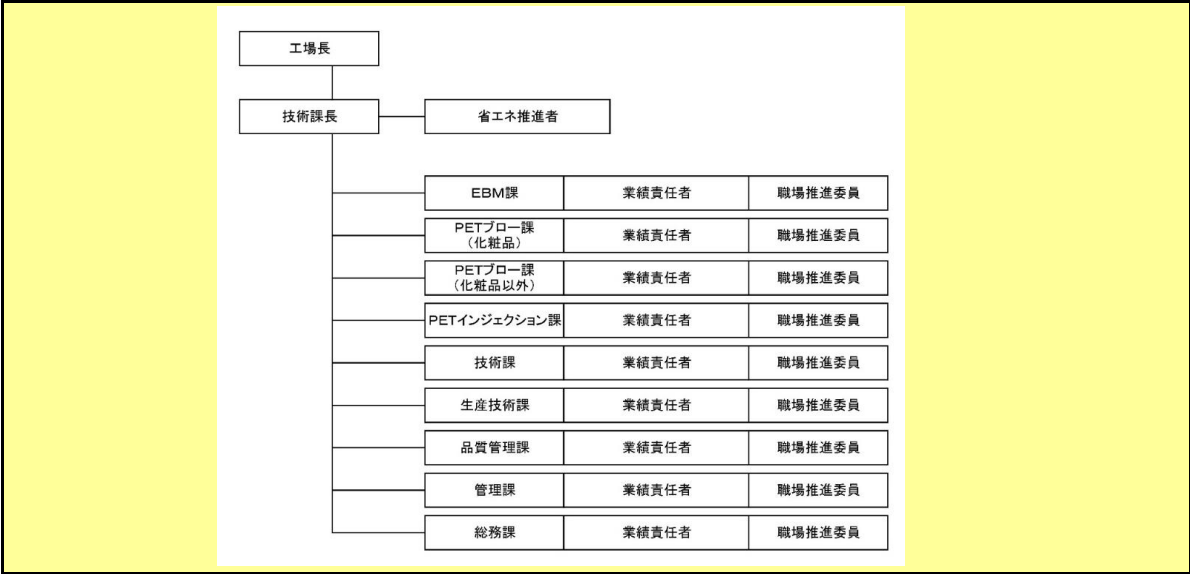
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち<株吉野工業所 滋賀工場>は、「全ての事業活動の基軸に環境への配慮をおき、ものづくりを通じて社会に貢献する」という全社をあげた理念のもと、製造業として、環境に配慮した製品の供給に努めてまいります。

同時に、私たち<株吉野工業所 滋賀工場>は、地域に根ざした環境保全活動を通じて地域の方々とのパートナーシップを育み、各事業所を拠点として低炭素社会の構築に寄与していきます。

1. 事業活動を通じて、環境負荷を最小限にする仕組みをつくり、環境保全と汚染予防に取り組めます。
 - ①CO₂排出を削減できる製品の提供に努めます。
 - ②省エネルギー・省資源に取り組めます。
 - ③廃棄物の削減と再資源化に取り組めます。
 - ④植樹活動に取り組めます。
2. 事業活動を通じた環境保全活動を定期的に見直し、継続的な改善に努めます。
3. 環境保全に関連する法規制を遵守します。
4. この方針を具体化し維持するとともに、全従業員に周知徹底します。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

省エネルギー設備の導入については、昭和58年度から計画的に積極的な取り組みを行っている。

- エアコンプレッサーの電力量について、エアの漏れの低減や設定圧力を下げることによる電力の削減
- 外気利用(フリークーリング)による冷凍設備の入替による電力の削減
- 熱源となる装置に保温カバーを取り付けることで、電力の削減
- 樹脂押出機に省エネモーター(インバーター)の設置による電力の削減
- 工場内、事務所、食堂等のLED照明への交換
- 生産ラインの不要運転時、自動停止させる
- 生産工場内に外気を導入し、エアコンの運転電力の削減
- 受電設備の稼動状況に合わせた進相コンデンサーの適正運転
- 射出成形機を油圧式から電動式へ入替による電力の削減

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	高圧コンプレッサー用クーリングタワー更新	令和2年度～令和5年度	令和4年 実施
2	設備導入	高圧低圧コンプレッサー用冷却水設備入替	令和2年度～令和5年度	令和3年 実施
3	設備導入	水冷式チルドタワーの入替	令和2年度～令和5年度	継続中
4	設備導入	コンプレッサー圧力の見直し	令和2年度～令和5年度	令和2年 低圧中圧実施
5	設備導入	空調設備設定温度見直し	令和2年度～令和5年度	令和2年 30台実施

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記(1)の取り組みにより、以下の数値目標の達成を目指します。</p> $\text{原単位} = \frac{\text{総使用エネルギー(GJ)}}{\text{使用原料(t)}}$ <p>上記式で毎年前年度より1%の削減</p> <p>尚、原単位の考え方は、次の通りです。 温室ガス排出量のもとにはエネルギーですので総使用エネルギー(分子)で表し、使用原料を分母として設定しました。</p>	<p>【令和4年度】 省エネの評価として、原単位(総使用エネルギー(GL)値/使用原料(t))を年1%の削減の目標に対し、今年度は前年度より悪化しました。 理由としまして当工場ではSDGsの取り組みで市場からの再生材料を使用した環境配慮材を一部で使用しており材料変更の影響で従来材料よりも場内検査での不良が多くなりました。不良が多くなることにより完成品を多く製造する必要があるので電力使用量が増え原単位の悪化に影響しました。また製品の軽量化にも取り組んでおり製品の重量が軽くなる事で材料使用量は少なくなるため結果として原単位の悪化に影響しました。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	28,056	26,919	22,010	21,726		
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	39,609	36,715	31,951	26,068		
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	39,609	36,715	31,951	26,068		
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		790.3	697.9	726.6	786.4		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	太陽光発電設備導入	計画中	R4年12月設備完了運用開始
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	高圧コンプレッサー用クーリングタワー更新
2	高圧低圧コンプレッサー用冷却水設備入替
3	水冷式チルドタワーの入替
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	551 kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
		(R4)年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	148,000			
上記のうち自家消費量	kWh	0	148,000			

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂						
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂						
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh						
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	物流の合理 化	満載輸送、納品先までの距離を考慮した製造工場 の選定	随時実施	計画通り実施
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
		(R2)年度	(R3)年度	(R4)年度	()年度	()年度
保有車輛の数	台	10	10	10	9	
上記のうち 次世代自動車の数	台	0	0	0	0	
特記事項						

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	SDGs	廃棄量削減への取り組み	随時実施	計画通り実施
2	SDGs	フードロス削減への取り組み	随時実施	計画通り実施
3	SDGs	リサイクル性の向上への取り組み	随時実施	計画通り実施
4	SDGs	石油由来材料の使用削減	随時実施	計画通り実施
5				